

# 平成29年度 第2回医療福祉機器技術研究交流会 開催報告

## 「現場ニーズ発の介護・福祉機器開発のポイントと中国地域の研究シーズ」

主催：公益財団法人ちゅうごく産業創造センター

### 【概要】

公益財団法人ちゅうごく産業創造センターは、平成29年9月21日(木)、広島市のホテルセンチュリー21広島において「平成29年度 第2回医療福祉機器技術研究交流会」を開催しました。本交流会は、中国地域企業のヘルスケア・医療福祉機器ビジネスへの新規参入や新製品・事業化につながる出会いの場になることを期待して、ヘルスケア・医療福祉分野の最新情報や大学等における研究シーズを紹介するものです。

「福祉機器」をテーマとする第2回は、「現場ニーズ発の介護・福祉機器開発のポイントと中国地域の研究シーズ」と題して開催しました。

基調講演では、株式会社 MT ヘルスケアデザイン研究所 代表取締役所長の阿久津 靖子 氏から、介護・福祉機器開発を俯瞰してコンサルタントの視点で開発プロセスの課題についてご紹介いただきました。講演では、社会福祉法人三篠会 高齢者総合福祉施設 ひうな荘 リハビリ部長の森山 由香 氏に、介護・福祉現場の視点から求められる機器の発想や開発コンセプトなどについて紹介していただきました。

参加者からは、「デザイン思考の重要性をよく理解できた」、「福祉機器の価値の考え方、福祉現場の留意すべき項目など大変参考になった」といった声をいただきました。

研究シーズ紹介では、川崎医療福祉大学の黒住 千春 准教授から、標準型車椅子に対応したテーブルの開発について、続いて鳥取大学の中谷 真太郎 助教から、嚥下障害の早期発見・予防のための舌運動リハビリテーションシステムの開発について、最後に近畿大学工学部の竹田 史章 教授から、人工知能 AI と知的画像処理の応用による福祉・医療現場における各種システム化の実証例について紹介していただきました。

研究シーズ紹介に3社が興味を示され、今後、フォローアップや事業化検討などマッチングを進めて参ります。

### 【講演風景】



### 【日程・場所】

日時：平成29年9月21日(木) 13:30～17:10

会場：ホテルセンチュリー21広島（広島市南区的場町 1-1-25）

【参加者】 84名

### 【プログラム】

- 基調講演 「コンサルタントから見た介護・福祉機器開発の課題」  
株式会社 MT ヘルスケアデザイン研究所 代表取締役所長 阿久津 靖子 氏
- 講演 「ニーズを捉えた機器開発の発想・コンセプトとは～介護・福祉現場の視点から～」  
社会福祉法人三篠会 高齢者総合福祉施設 ひうな荘 リハビリ部長 森山 由香 氏
- 研究シーズ紹介1 「標準型車椅子に対応したテーブルの開発」  
川崎医療福祉大学 医療技術学部 リハビリテーション学科 准教授 黒住 千春 氏
- 研究シーズ紹介2 「嚥下障害の早期発見・予防のための舌運動リハビリテーションシステムの開発」  
鳥取大学大学院 工学研究科 機械宇宙工学専攻 助教 中谷 真太郎 氏
- 研究シーズ紹介3 「人工知能 AI と知的画像処理の応用による福祉・医療現場における各種システム化の実証例」  
近畿大学 工学部 電子情報工学科 教授 竹田 史章 氏



この事業は、競輪の補助を受けて実施しました。

<http://hojo.keirin-autorace.or.jp/>